時事新報

洋酒は純精ならざるもの多し　第二

洋酒其他舶來の飲食品は今日れ上等社會に於て恰も交際れ要物ともなりしことなれば假令へ贋製にして純精あらざるもの多きにもせよ全く之を廢す可らざるは勢に於て然るが故に此等の人々は洋酒其他舶來の飲食品を吟味して成る丈け有害のものと自からも用ゐず他人にも勸めざることこそ肝要なれ抑も我輩が舶來品に有害のもの少なからずと云へるは獨り我輩の想像にならずして西洋の諸學家が常に説明する所なれば既に疑を容るべからざれども亦其有害なると否とを吟味するの方法なきは是非共舶來品を飲食せんと欲せば相當の順序に由りてこの吟味をなさんこと我輩の希望に堪へざるものなり

凡そ正銘の酒類に就て其成分を見れば麥酒はアルコール、水、炭酸及びエキストラクトにして葡萄酒はアルコール、糖、エキストラクト及び酸とす、酸にも種々ありて一樣ならず又ブランデー酒はアルコール及び水のみなれども佛國製の上等品は永く槲桶に貯ふるが故にエキストラクト及び色分、タンニン抔と併せ含むと云ふ是れ正銘の酒類に缺くべからざる成分にして其分量を計り知るの試驗法には理學的と化學的との兩樣ありて其理學的のものは特に專門に屬し西洋には酒の種類に從て各々鑑定人と異にし例へば麥酒鑑定人又は葡萄酒鑑定人と稱し其鑑定に由て代價を定むるの風ありと云ふ此鑑定人は眼、舌及び鼻の熟練を以て例へば麥酒の如きは味、香、色より濃薄、明暗、比重に至るまでを調査し尚は光線の通過する模樣、罐口より注射するときの有樣、沈澱物の狀況などに由りて吟味するを常とせ又化學的は諸學家に由り其方法種々なれども麥酒に就き化學的試驗の最も簡易なるものを擧げんに此試驗は麥酒の近成分を吟味するに止まるものにて先づ麥酒を震盪すること屢々なれば炭酸を驅逐すべく或は攝氏四十度の溫氣を與へて之を放頓すると數分時なれば炭酸は分離するが故に先づ其量を知る可し次で之を蒸溜すれば其蒸溜し得たるものを以てアルコールの量と知るべし或はエブリチスコープ(寒暖計にてアルコール分の多少を計る器械)にてアルコール分を計り之を火に上せて蒸發せしむれば水分及びアルコール分は蒸散して跡に殘るはエキストラクト分にして之を乾燥すれば其分量を知る可し故に麥酒の全量より以上のアルコール分炭酸分及びエキストラクト分を減ずれば其餘は水分なりと知る可し尚麥酒の純否を吟味するの方法は葡萄酒及びブランデー酒と大同小異なれば以下の各試驗に就て參考すべし或は思ひ其半に過ぐべけれども茲にホップを吟味するの方法を示さんに左の如し

麥酒のホップに代用するに或る松皮、カッシア、千金蝍、アルセム、水三葉(カッカツバ)、ラツクチユカリユーム、ピクリン酸などと以て苦味と與ふれどもホップの近成分と同じくタンニン、膠、殊に香氣ある揮發性の油質などを含まざるが故に更にカンナビスインヂカ、ゲールホートエキストラクト、カルムス根の揮發油などを加ふと云ふ斯れ如く種々の物質を加へ混する時はホップに代用するに足れども熟練の鑑定人は香味に由りて能く識別すべしワグチル氏の説に由れば麥酒の混物中に有毒なるもの多き中に就てピクリン酸其一例なり(此ピクリン酸は石炭れタール或はインヂゴなどの有機物に强硝酸と加へ煮て製したるもの)此ピクリン酸の有無は麥酒中に白色羊毛を浸し置くこと二十四時間にして取り出しアルコールを以て此羊毛を洗ふにホップ製上等品なれば羊毛は褐帶灰色となりピクリン酸製なれば羊毛は微黃色となると云ふ

葡萄酒の贋製には理化兩樣の試驗法に由るも發顯し難き混物あるもの少なからず左れど茲に其通例の試驗法と擧げんに酒中に炭酸鉛或は酸化鉛を含むときは硫化水素或は硫化アンモニヤにて之を吟味すべしプルース氏の説に從へば酸化鉛を含むの疑念あるものは之を煮つめて硝石と共に燒き其殘物に硝酸を加ふれば酸化鉛を含むものは溶解するを以て知るべしと云ふ又酒中に銅及び亞鉛を含むことあり是れ金屬製の龍口及び吸管と通過するときに混じたるものにて至毒なれども之を吟味するには硫化水素或は硫化アンモニヤに由ること尚鉛分の吟味に異ならず又ボルドーは佛國有名の葡萄酒なれば之に擬するが爲めに尋常の酒中に明礬を混ずることあり之を混ずれば沈澱を進め澁味と增し酒色と美にし且運送に適するなどとボルドーに異ならずと云ふ此混物を吟味するに數法ありてベーランド氏の説に酒中に石灰水を加へ放頓すること二日間にして明礬なきものは酒酸加里或は琥珀酸加里の沈澱と生ずれども若しも明礬あるときは既に酒酸礬土の形となり此等の沈澱を妨げて生ぜしめずと云ふ又同氏の説に酒中に硝酸重土或は鹽化バリユームの稀溶液を加へて生じたる沈澱を硝酸或は沸湯に投じて溶解するなどあらば明礬を混ずることを證明すべしと又ラッセイン氏の説に酒中の明礬假令へ少量なるも之を煮沸すれば必らず酒を濁らし其冷るに及べば不可溶性の魚眼となりて器物れ側面に沈澱し集めて燒くに純粹の礬土となるべければ酒中に明礬の有ると否とを吟味せんには之を煮沸するのみにて足れり其明礬の分量が酒量の千分一或は萬分の二三にして此種類が加里明礬なるもアンモニヤ明礬なるも共に煮沸すれば必らず濁り否らざれば何時まで煮沸するも濁ることなしと云ふ又佛國の葡萄酒中には往々にして百分の二三れ硫酸(硫酸エーテルの有樣にて)を含むこと多く是れは可溶性れバリユーム鹽類に反應を顯はさゞるに由り注意して化學的の試驗となさば其硫酸と發顯すべし

凡そ葡萄酒の赤色は人造の着色に係るもの多くして其材料には大概植物質を用るを常とす即ちカンピシ木(英名ロックウードなしてカンピシ木は蘭語なり以下皆之に同じ)カラップローツ、ベルグフリールベス、ツワルテフリールベス、蘇黃等是なり此等れ植物質を以て着けたる色と天然の葡萄酒の色とを識別すること最も困難にして從來種々の試驗法ありと雖ども大概不充分なれば今ヤコップ氏は永年の經歷を積みて別に一法を案出せり其法に由れば二グラムの葡萄酒に二グラムの明礬溶液を併せて十二乃至十六滴の炭酸アンモニヤの溶液を滴加すれば種々の色を有する沈澱となるべし之を礬土ラックと名づく別に次醋酸(ソブアセダスプランビ)鉛に由りて種々の色を有する沈澱を生ぜしめ兩者と比較するに左表の如しと云ふ

混物名目は	礬土ラックなれば	次に醋酸鉛の沈澱なれば
純粹の葡萄酒	稍色を帶びたる灰色	青帶灰色
ロツクウード	美麗なる暗紫色	弱き青色
リギユステルペス	透明綠色	弱く汚れたる綠色
カラツプロース	石盤樣の暗灰色	汚れたる灰色
ムルグフリーペルス	透明紫色	草綠色
ワツルテフリーペルス	青帶灰色	弱く且汚れたる綠色
ラツカムーズ	洋紅色	青灰色
蘇黃	同上	青色

又アニリンにて着色せる葡萄酒なれば之に獸毛を浸すこと數分時間にして取出すに赤色となりて水にて如何に洗滌するも其色を失ふことなきを以て知るべし(未完)

官報

○陸軍省訓令甲第三號　北海道廳　府縣(沖縄縣ヲ除ク)

徵兵令第十七條第三項第四項ニ當ル嗣子承祖ノ孫ニシテ徵集猶豫ニ屬シ常備年期間ニ戶主ノ死亡跡若クハ退隱跡ヲ繼キ戶主トナル者ハ同令第三十六條ニ揭クル異動ノ外トシ取扱フヘシ

但舊徵兵令第二十八條第二項第三項第四項第五項及ヒ第二十九條第一項ニ當ル嗣子承祖ノ孫若クハ相續人ニシテ免役ニ屬シ常備年期間ニ戶主ノ死亡跡ヲ繼キ又ハ年齡六十歲以上若クハ癈疾不具等ニシテ一家ノ生計ヲ營ムコト能ハス或ハ重罪ノ刑ニ處セラレ戶主ヲ罷メタル跡ヲ繼キタル者亦本文ニ同シ

明治二十年四月五日　陸軍大臣伯爵大山巖

○敍任及辭令　明治二十年四月四日

兼任遞信省參事官(敍奏任官二等)遞信大臣秘書官正六位　栗野愼一郎

外務省取調局長　鳩山和夫

御用有之大阪府兵庫縣長崎縣へ出張ヲ命ス

○西班牙書記官　西班牙公使館三等書記官ドン、シユアン、ペレー、カバレロ(Don Juan Perez Caballero)氏は一昨三日來着せし旨同國公使より外務省へ通牒ありたり

○軍艦發着　鳳翔艦は去月二十九日館山拔錨去る一日下田に投錨、天龍艦は去月三十日横濱拔錨同日浦賀に投錨、同三十一日浦賀拔錨、同日富津に投錨、同日富津拔錨、同日横濱に投錨、同日横濱拔錨、同日品海に投錨、日進艦は去月二十九日横須賀拔錨、同日館山に投錨、同三十一日館山拔錨、同日横須賀に投錨せり

○帝國大學艇庫及端艇取締規則　帝國大學に於ては去る一日帝國大學艇庫及端艇取締規則を左の如く定めたり

第一條　帝國大學艇庫ヲ南葛飾郡須崎村十五番地ニ置キ學生運動ノ用ニ供スル端艇ヲ收藏スル所トス

第二條　帝國大學艇庫ハ每日(休業日ヲ除キ)午後一時ヨリ日沒マテ休業日ハ日出ヨリ日沒マテ之ヲ開ク

第三條　帝國大學運動會員タル者ハ何人タリトモ此規則及同會端艇部規則ヲ遵守スルトキハ前條ノ開庫時間ニ於テ端艇ヲ使用スル事ヲ得

第四條　端艇ヲ使用セント欲スル者ハ成規ノ手續ヲ經艇守ニ通知シテ端艇及其屬具ヲ庫中ヨリ出タシ且其使用ヲ了シタルトキハ必ス之ヲ其常置ノ場所ニ復スヘシ

第五條　何人タリトモ休業日ヲ除クノ外二時間以上引續キ端艇ヲ使用スルコトヲ得ス休業日ニ於テ二時間以上引續キ之ヲ使用セント欲スルトキハ豫メ其行先及時間ヲ具シ運動會幹事長ヲ經テ舍監ノ認可ヲ受クヘシ

第六條　他學校ノ生徒若クハ他ノ運動會員ト競漕ヲ爲サント欲スルトキハ豫メ運動會幹事長ヲ經テ舍監ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　明治二十年一月以後ノ新造ニ係ル端艇ヨリ直ニ水ニ入リ浴泳スルコトヲ禁ス但シ同年月以前ニ新造シタル端艇ハ此限ニアラス

第八條　此規則ニ違背シ其他端艇取扱上不都合アル者ハ舍監ノ具狀ニ依リ帝國大學總長ニ於テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

○海外旅券　神奈川縣に於て本年一月より三月まで内國人に附與せし海外旅券總數は五十九枚にして其人員六十一人なり之を區別すれば英國行男二人女一人、米國行男二十二人女一人、佛國行女一人、獨國行男一人、清國行男四人女六人、朝鮮國行男四人女六人、布哇國行男七人女一人、英領印度行男一人、瑞西國行男一人、露國行男二人なり又同右三月間歸朝届出の者は二十四人にして内米國より男二人女一人、清國より男一人女四人、布哇國より男十二人女四人なり○新潟縣に於て去月中下附したる海外旅券の數は米國行男一人なり

○内閣員の交迭　本年二月二十五日ブダペスト府發の電報に據れば匈牙利國官報は此程同國大藏大臣ザパリー氏の辭職を聞届け更に内閣總理大臣兼内務大臣チスサー氏に大藏大臣の任を委ね宮内大臣男爵ドルクジーに内務大臣の任を委ね又鐵道局長ルカークス氏を遞信次官に任ずる旨の勅令を揭載したりといふ

(以上本年四月五日官報)

雜報

○露國の陰謀露顯　ソフヒヤ三月十二日發の報を見るにベルーフと稱する一人の露國人はバルガリヤの首府ソフヒヤに於て騷動を引起さんと五十人の無頼漢と引連れ同所に來りて陰謀の計畫中終に露顯してベルーフ及び數人は逃走したるも其他は悉く捕縛せられたり其白狀する所に據れば何れも皆露國より報酬を得てバルガリヤ攝政々府の官吏れ名簿と所持し居たるが其名簿中の處々に符號を付した

る所なり多分此等の
もれあらんとありた
○黑龍江汽船會社の
よりニコレヴスクに
與ふることに決した
定め全航路の往復は
各都府へは三回より
汽船會社へは本年よ
ーブル(大凡十二萬一
舶會社を監督する商
三千圓)の給料を與
國に於て新造する軌
あらざれども露國政
慮し居るとのことな
ん露國政府は黑海汽
へ義勇巡洋艦隊(ボリユンチヤーフロート)
ン汽船會社へも補助
會社へ補助金を與へ
なれば同政府は其東
との大望を有し居る
江に沿ふたる支那領
とは大に露國政府の
と竊に自國領の籍に
府が此地方に就き意
に通するソンハリ河
大兵を派遣し得る等
易に信ず可らざる
州に屯田兵と設けて
に計畫する所あるを
免んとするは露國の
に補助金を下附する
たるものなるは疑ふ
が急其業を開くに至
數を減ずるを得べく
の方に延長するを以
の全部を旅行し得る
或る外新聞に見へ

○露國の瘋癲　露國
據れば露國に於て養
だ一萬人に過ぎざる
他救助と受けざるも
に漂泊するもれ一み

○露國の破裂藥　佛
破裂藥を發明し其製
頃の本紙上に記載し
の報に據れば露國に
府の監督ねて數回の
奏したるが此破裂藥
破裂の時は少しも烟

○新爆裂藥カイネタ
ーブ及びフアレンスタ
藥カイチダイトは其
倍乃至六倍すれども
てダイナマイトの如
學士の試驗所跡に
置き木槌と以て極め
ざるのみならず鋼板の
は爆發せず鋼鐵板の
く打ちたるに始めて
るに鋼鐵板と鋼鐵梃
分丈けれみ破裂し他

獨逸學協會學校生徒
徵兵猶豫廣告

ブドリ茶
各御得意樣ノ御引立ヲ以テ益々盛大難有奉謝候倘又今般新形各種製造仕一層廉價ニ販賣仕候間陸續御注

汽船品海出發廣告
小菅丸　神戶大阪行
四月八日荷物積切
仝十日午後二時出發

近來… 政止 令 ノ内ニ新 シテ賣先 ル事ニ確定候此段